

宇和島市立伊達博物館

【入館時間】

午前9:00～午後5:00(受付は午後4:30まで)

【休館日】

毎週火曜日及び年末年始(12/29～1/3)
※火曜日が国民の休日にあたる場合は翌平日

【入館料】

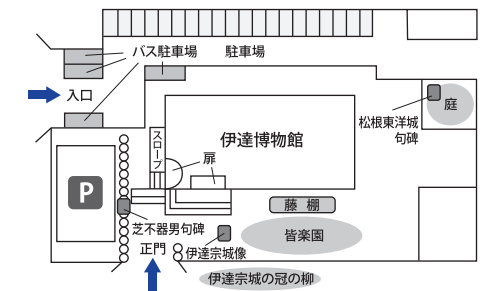
大人 500円[400円]、敬老(65才以上) 400円[400円]
大学生 400円[200円]、3館共通券 700円
※[]内の料金は、団体(20名以上)の場合。割引の併用なし。
※高校生以下無料(高校生または出生の日から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者。要確認証提示)
※障がい者手帳・療育手帳などをお持ちの方(介助者1名を含む)は無料。

【交通アクセス】

宇和島駅より 徒歩25分
バス/津島方面行「東高校前」 徒歩2分

【展示】

展示は半年に1度総入れ替えを行っています。
そのほかGWと秋に特別展示、桃の節句に合わせてひな人形とひな調度展を開催しています。
※詳しくは下記までお問い合わせください。



【博物館見取図】

【公式HP・SNS】



HP



Instagram



X

〒798-0061 愛媛県宇和島市御殿町9-14
TEL 0895-22-7776 FAX 0895-22-7819
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/datehaku-top/>

宇和島市立 伊達博物館

「伊達は十万石、鶴島城址…」と宇和島小唄にもうたわれているように宇和島は伊達十万石の城下町として発展し、早くから文化の開けた所です。

慶長二十(一六一五)年宇和郡板島の地(現在の宇和島)に、初代秀宗が入国して以来、歴代藩主の善政によって殖産興業、文化の興隆めざましく、香り高い幾多の文化遺産を保有しています。特に八代藩主伊達宗城は賢公のきこえ高く、内政の充実はもちろん、幕末の政局多端に際しては、松平慶永・山内豊信・島津斉彬らとともに大いに活躍したところから、中央との交流もしげく、他に見ることのできない貴重な文化財が残されています。

昭和四十七(一九七二)年に市制五十周年を迎えた宇和島市は、それを記念して、これらの文化財を公開し、先人の業績をしのび、文化愛護の精神をやしなうと共に、これを伝承し、さらにより高い文化の創造を願ってこの博物館を建設しました。

【表紙背景…梨子地御紋散蒔絵目録箱より】

主な宇和島伊達家伝来品

武

宇和島伊達家には、歴代藩主の甲冑をはじめとして、馬具・刀剣類等の武具が数多く伝わっています。

中でも、徳川将軍家からの拝領品や天皇家からの下賜品等が当時の功績を今に伝えています。



7代藩主宗紀所用
藍白地黄返小桜染革威鎧



脇差 銘「貞宗」（徳川家康より拝領）



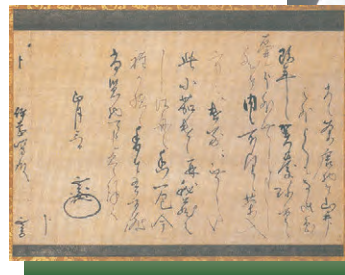
梨子地波に鶴文蒔絵鎧と鞍（明治天皇下賜品）



重要文化財 絹本著色 豊臣秀吉像
（※重要文化財のため、常時公開はしていません。）

文

父政宗から

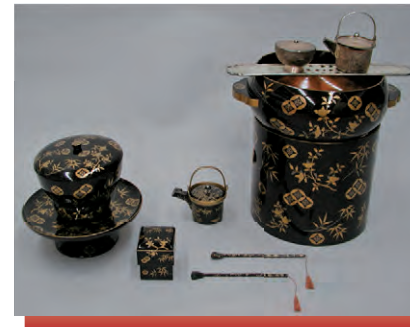


伊達政宗書状

宇和島伊達家伝来品の中には歴史上有名な豊臣秀吉の肖像画をはじめとして、初代藩主伊達秀宗の父親である仙台藩初代藩主の政宗ゆかりの品々も家宝として大切に伝わっています。



香木 銘「柴舟」



黒塗七宝竹橘文蒔絵櫛台と歯黒道具一式

大名の華－婚礼道具



9代藩主宗徳夫人
佳 姫

婚礼道具には大名家の女性が身だしなみを整えたり、教養を身につけたりするためのものが数多くあります。

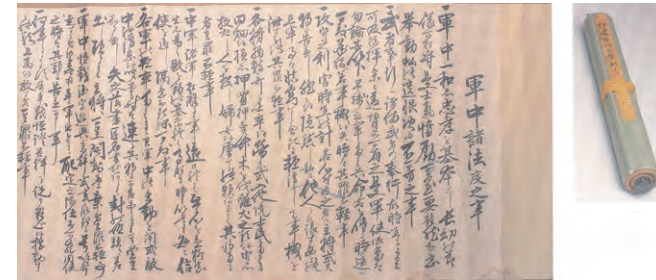
宇和島伊達家には、9代藩主宗徳夫人佳姫をはじめとして、歴代藩主夫人の婚礼道具が小物から駕籠（高貴な婦人用は乗物という）まで伝来しており、あらゆる用途の品々をご覧ください。



花菱月丸扇紋散蒔絵女乗物

雅

書



軍制書 8代藩主宗城書

宇和島伊達家には約3万点以上の古文書が伝来しており、特に幕末の四賢侯として活躍した8代藩主宗城の書状等は歴史的に貴重なもので、当時の世情が今に伝わる内容となっています。

宇和島伊達家の家紋

竹に雀紋（宇和島笹）



宇和島藩と仙台藩は、竹に雀紋を使っていますが葉の数、節の数等が異なり、宇和島笹、仙台笹と呼ばれ区別されています。伊達家で用いられる家紋のなかで最も格式が高く、重んじられています。

豎三引両紋（たてみつびきりょうもん）

伊達氏の始祖朝宗（ともむね）が奥州合戦（1189年頃）の際、源頼朝から拝領しました。仙台伊達家から続く家紋の中で最も古い由緒をもっています。



九曜紋（くようもん）

仙台藩祖である伊達政宗が気に入る、細川氏から譲り受けたと言われています。

